

ぶらネットこまき

<http://www.komakichiku.com/> (古牧地区住民自治協議会広報紙)



第105号

古牧だより通算199号

第2回

ながの獅子舞フェスティバル

古牧地区から6団体が参加



第2回ながの獅子舞フェスティバルが5月3日(祝)に開かれ、古牧地区から6団体が参加しました。中央通りをメイン会場に市内の73団体が集結。心配された前日からの雨もあがり、それぞれの団体が舞いを披露しました。

加藤市長の威勢のいい掛け声で開幕。オープニングでは、善光寺平神楽囃子保存会が合同演舞をして盛り上がりました。

南高田

男獅子が青空に舞う

南高田神楽保存会は、初めて「獅子舞フェスティバル」に参加し当日は朝からの雨も止み大勢のお客さまが観覧する中、古牧地区では唯一の「男獅子の舞」を長野を訪れたお客さまに披露しました。

この舞は古くは松代藩にも奉納されており舞い方は五つ、その舞い方それぞれに意味があります。なかでも「刀の舞」ではその華麗

で勇壮な舞にお客さまから盛大な拍手をいただき一同感激でした。

伝統芸能継承のプログラムは沢山あり

ますが、このフェスティバルには今後も継続して参加していくことを誓った素晴らしい一日でした。



北条

保存会をつかって獅子舞復活

北条神楽保存会は、獅子舞フェスティバルに初めての参加です。アゲイン前で舞いました。



加藤会長は「保存会そのものが発足したば

かりで、まだまだヨチヨチ歩きです。不安をかかえながらも、子どもとおとなの2基も参加できたことは、よかったです」と語ります。

北条区の神楽は後継者不足により、一度途絶えてしまいました。この1年半ほど前から志のある数人が中心となり保存会結成へ弾みをつけました。北条文化財保存会が主となり、子どもからおとなまで広く集まってもらおうと運動。子どももおとなも10人ほど保存会に参加していただき、毎週土曜日に練習を重ねています。

「舞とお囃子(おはやし)ともに磨きをかけていきたい」としております。



平林

獅子が頭を噛む！

平林神楽保存会は会員16名は「善光寺平神楽囃子保存会」の立ち上げにも参画し、神楽の伝統を守って活動しています。

オープニングでは「五分一流」を基本とする獅子頭が一堂に会して一つのお囃子で同時に舞いました。その迫力に驚いた人が多かったのではないのでしょうか。

獅子舞が近づくと怖がって泣いて逃げてしまう子どもがいます。その子の健やかな成長

を願う親は、泣いていても獅子舞に頭を噛んでもらいたいと子どもを近づけます。悪魔祓いや厄病退治は勿論



のこと、より良い1年を過ごしたいという親の願いは今も昔も変わりません。

泣いた子どもも大きくなって獅子舞を見かけたら、ぜひ、家族全員で獅子に頭を噛んでもらいたいものです。



西尾張部

臨時参加者を募集中！



西尾張部神楽保存会で笛を担当している成田と申します。

獅子舞フェスティバルは、次世代への伝統芸能の継承と世代や地域を越えた交流を目的に始まった

イベントで、西尾張部神楽保存会は昨年引き続き10名の会員が参加しました。

西尾張部神楽保存会の出番は2回。各回で「道中」と「本舞」を披露しました。地元のお祭りのような和やかな雰囲気とは異なり観光客や他地区の保存会の方々の前となると普段とは違う緊張感がありました。また、他地区の獅子舞を見ていると、お獅子や太鼓、舞い方、お獅子の姿形、屋台の彫刻も千差万別で、それぞれの地域の伝統が見えました。

「次世代への継承」が、このフェスティバルのテーマの一つとなっていますが、西尾張部神楽保存会では臨時参加者（特に小学生）を募集しております。「やってみたい」という方、ぜひご一報ください。



上高田

伝統の太々神楽

上高田の神楽は昭和30年代から40年代が最盛期でした。他地区の神社の祭りにも応援に行ったりして活躍をしましたが、50年代以降、高齢化で後継者の育成が急務になりました。平成の初めに有志が集まり現在の保存会の原型が出来ました。今のメンバーは40歳代から70歳代の男性10名で構成され、上高田の氏神様を祭る芋井神社の春秋例大祭の前夜祭に神楽舞を奉納しています。

春は1台の神楽ですが秋は2台の神楽で区内を巡回します。春は桜の花が満開の南向塚の観音堂前でも神楽舞を行います。

神楽舞の練習は金曜日の夜、芋井神社の拝殿で2時間程行っています。練習に使われる楽譜は笛（上段）、太鼓（下段）の五線譜に書かれており、昔の楽譜に比べると馴染みやすく書き直されています。

今年の正月、櫻ヶ岡中学校の始業式の前に神楽の道中演奏と神楽の村舞を披露しました。生徒会長からご丁寧な御礼の言葉をいただき感激致しました。

また、上高田の神楽を末永く保存するため、新たな会員の募集をしています。





五分一

太神楽保存会です

今年の長野市獅子舞フェスティバルでは、地元地区内の天満宮の春祭りと神社の春祭りが重なってしまい、平林神楽保存会の皆さまにご協力いただき午後から何とか獅子頭だけフェスティバルに参加しました。

また、今回は、五分一の神楽が会場にいなかったため、スタンプラリーを楽しんでいる観客の皆さまには、朱印をもらえなかった方が沢山いたと思います。心よりお詫び申し上げます。

来年は開催日が重なっても神楽と獅子頭の

セットで参加し、そして朱印のある方、無い方に関係なく、観客の皆さまが五分一神楽を楽しんでいただけるよう、精進してまいりますので、今後もフェスティバルに来ていただきたいと思います。

神楽の文化は地域の皆さまのご協力と励みがあつてこそ次の時代へ継承していくことができると思います。これからもよろしくお願い致します。



学校と地域で子どもを守る古牧地区連絡会

多様化する手口、早期の対応がカギ

5月22日(火)古牧公民館にて「学校と地域で子どもを守る古牧地区連絡会」が開催されました。連絡会には関係する6小中学校の学校長をはじめ、13地区の区長ら71名が参加しました。

各学校の発表の中で、SNSに関わる諸問題が多く提示されました。この問題は高校からという状況ではなく、小学生にも拡大しており、今後も大きな影響を及ぼす存在と

なっていくと思われます。子どもと学校だけでは解決は難しく保護者や地域・警察との「報告・連絡・相談」の大切さを感じました。

2013年8月に大変残念なことで三陽中学校の女子生徒死亡の交通事故が発生しました。その後、二度と事故に遭わない、事故を起こさないという後輩たちの啓発運動に多くの皆様から賞賛の声が寄せられました。成果のなかなか見えない難しい課題ですが、ファイト！ガンバレ！

ある学校の先生からの「テストは100点でなくてもいいが、安全活動は100点でなければならない」という発言に共感しました。

毎年、今頃になると女子児童を対象とした多くの凶悪犯罪が発生しています。昨年は、千葉県で元保護者会の会長が、今年新潟県で23歳の青年が起訴されました。いかに、子どもに対して声掛けをして見守っていけばいいのか大変難しいことになってきていると思います。



支え合い・助け合い! 福祉推進員・保健補導員研修会

古牧公民館で4月25日(水)「福祉推進員・保健補導員研修会」が開かれました。目的は、地域の福祉に関する様々な課題について理解を深め、地域福祉活動の担い手として果たすべき役割を認識し、意識の高揚を図ることです。

長野市地域包括ケア推進課介護予防担当の富岡係長に「元気の秘密は地域づくり」と題した講演をお願いしました。

富岡係長からは、ますます少子高齢化社会が進む中で要介護状態にならないための予防策として、スポーツ、趣味、ボランティア活動など同居者以外と交流することが大切で、高齢者が積極的に社会参加できる仕組みを地域で作ることが必要とのことでした。



現在、古牧地区で行っているほんわか健康塾や各区で行われている健康塾の様子、そこで活躍している「ほんわか健康応援隊」の活動などの紹介があり、他地区の模範となる取り組みと評価をいただきました。

その他、松代地区での事例など紹介され、今、地域に求められている事、福祉推進員・保健補導員として果たす役割を学ぶ研修会となりました。

休憩後は、アトラクションとして、ほんわか健康応援隊の指導によるストレッチ体操、脳トレなどで楽しみました。

福祉部会では、一人暮らし高齢者の家事援助(買物、庭の草取りなど)ボランティア協力員を募集しています。



今期の「にこにこ広場」スタート 「つながって つながって」楽しく子育て

今期も古牧地区の「にこにこ広場」がスタートしました。これは古牧地区民生児童委員協議会の主催。住民自治協議会福祉部会・子育て支援部がバックアップしています。5月9日(水)に開かれた初回には、21組の子どもと保護者が参加して盛況でした。6月の日程は20日と27日(午前10時から12時)、古牧児童センターで開かれます。「にこにこ広場」の開催日時間内には、主任児童委員による子育て相談も行われています。

【電話：026-259-5123】

地域の民生児童委員は、妊娠中の悩み事や子育ての不安などの様々な相談や支援をしています。「にこにこ広場」はその一環です。異年齢の子どもたち、保護者の方たちの情報

交換などで「つながって つながって」孤立化をなくして地域で支え合おうというものです。支援が必要な方と行政や専門機関とをつなぐパイプ役も務めています。



初日は、常連さんのほか、初めて参加の方もいました。会場には大型、小型遊具、絵本などが整備されています。子どもたちは保護者とともに、すべり台、大小のボール、おもまごとセットなど、思うままに遊んでいました。たまには遊具の取り合いも。保護者やス

タッフが「順番っこね」などと交通整理しながら、集団性も身に付けているように思えました。

遊んだ後は「もぐもぐタイム」。子どもや保護者は、みな笑顔で「楽しかった」「また来ます」と会場を後にしました。

響くメロディー 動き出す体 古牧地区ワイルドフェスティバル

新緑かおる和田公園野外ステージ。5月12日（土）に古牧ワイルドフェスティバルが開かれました。主催は同フェスティバル実行委員会、共催は西和田区・東和田区です。出演したのは古牧地区と縁のある6グループ。「生の演奏が聴けてすてき」（32歳女性）などの声が聞かれました。10月にもフェスティバルを予定しています。

ロック、ジャズ、ラテン、オカリナアンサンブルなど多彩なジャンル。初めて参加し、フォルクローレを奏でた「やましたーず+アミーゴス」の山下伯彦さんは、「市民に近い

催して、温かみがあって、楽しく演奏できました」と語りました。

ステージ隣にテニスにきた田町の男性は、「87歳の方のクラリネットと85歳の方のエレキギターのコラボ、かけあいがすごい」と興奮気味でした。

発起人の宮坂宏一さんはあいさつで、「せっかくある野外ステージなのだから、どんどん使って、設備もよくしていきたい」と語り、フェスティバルを続けていきたいとしました。会場にはフリーマーケット、焼き鳥と飲み物の模擬店もありました。



6月から7月までの主な行事実施日のお知らせ (多くの皆様の参加をお待ちしています)

事業名	実施日	場所	実施内容	お問合せ先
親睦ゴルフ大会	6月29日	長野国際カントリー	親睦ゴルフ	福祉健康部
ほんわか健康塾 こまき 12期	7月6日～ 毎週金曜日 三ヶ月間	古牧公民館	古牧地区介護予防事業 効果的な体操、脳トレ	ボランティアセンター 244-8159
ほんわか健康 応援隊 養成講座	7月下旬～ 9月	古牧公民館	ほんわか健康塾こまき及び各区で 行う健康塾のリーダーを養成します	ボランティアセンター 244-8159
中学生球技大会	7月8日	ヤングファラオ	ボウリング大会	青少年育成部
男性の料理教室	7月20日	古牧公民館	料理と仲間づくり	ボランティアセンター 244-8159
社会を 明るくする運動	7月21日	古牧公民館	青少年の非行問題の理解を求める	実行委員会(総務部)
世代交流 マレットゴルフ大会	7月29日	長野運動公園	三世代間交流事業	福祉健康部

しゃばえんびつ



山あいの温泉

新緑の季節になりましたが、天候不順な日が続いています。先日、久しぶりの晴れ間に、山あいの温泉に行ってきました。

若葉が燃えるような山々をながめながら車を走らせ、標高が800m位の山あいにある温泉に入りました。

木造りの湯ぶねには誰もいなく、天窗から陽が差し込んで湯面がきらきらとひかっていました。

丸太をくりぬいた湯口から源泉が出ている湯ぶねに首まで浸かり、湯面をながめていると、湯気がうずを巻いて立ち昇っているではありませんか。湯気がうずを巻いて湯面をす

べるように動いて、小さい竜巻のように昇っては消えてを繰り返していました。しばしの間、見入ってしまい、何か楽しいお風呂の体験になりました。

初めてですが、一句詠んでみました。

「源泉に 首までつかり うずを見る」
(石井 徹夫)



古牧地区の世帯数と人口

30年5月1日現在

11,352 世帯

26,705 人

(男 13,141人 女 13,564人)

- 発行所 古牧地区住民自治協議会
(電話259-8359・FAX219-1057)
(E-mail: komaki@vivid.ocn.ne.jp)
- 発行者 金澤 正義
- 編集 ぷらネットこまき編集委員会
- 印刷 ㈱小池印刷